

会 議 録

会 議 名	令和7年度 第1回東松山市立中学校部活動地域移行検討協議会					
開 催 日 時	令和7年7月29日（火）			開 会	13時30分	
				閉 会	15時00分	
開 催 場 所	東松山市総合会館3階 302会議室					
会 議 次 第	1 開会 2 任命書交付 3 挨拶 4 自己紹介 5 協議 （1）部活動の現状と本年度までの取組について （2）意見及び情報交換 6 その他 7 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数		3名	
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	座 長	森 浩寿	出席	委 員	長澤 誠	出席
	委 員	寺田 浩之	出席	委 員	西川 光治	出席
	委 員	大塚 実	出席	委 員	松崎 努	出席
	委 員	岡部 健	欠席	委 員	遠藤 和宏	出席
	委 員	太田 あや子	出席			
事 務 局	教育長 吉澤 勲			学校教育部長 高荷 和良		
	学校教育部次長 澤田 一彦			スポーツ課長 大木 克彦		
	指導主事 柳 恒平			スポーツ課主任 高橋 沙織		

次 第	顛 末
1 開 会	事務局 開会宣言
2 任命書の 交付	教育長 人事異動に伴い、新任委員への任命書交付 (交付者：北中学校長 西川氏)
3 挨拶	森座長（大東文化大学） 吉澤勲 教育長（東松山市教育委員会）
4 自己紹介	自己紹介：各委員・事務局から 新任委員の紹介 ・西川氏（北中学校 校長） ・事務局：スポーツ課 大木・高橋 学校教育部 澤田（学校教育部次長）より挨拶
5 協 議 事務局 太田委員 事務局 太田委員 事務局	（１）部活動の現状と本年度までの取り組みについて 地域連携という記載は地域展開と修正の依頼を依頼した。 今年度部活動指導員活用事業補助金を活用し、８名の部活動指導員を配置について。 令和９年度までの部活動地域移行スケジュール案について 部活動指導員と外部指導者の制度上の違いについて 部活動指導員の配置上の課題や担当校の配置状況について 東松山市の部活動の方向性と学校部活動の地域展開に向けて 自治体ごとのパターン紹介（資料４） 東松山の目指す方向性として平日、地域連携型と地域連携＋平日・土日移行型を 埼玉県中体連の大会参加についての説明（資料５） ①拠点校部活動について ②合同チームについて 部活動再編しエリアごとに部活動を設定した例（資料６） （２）意見及び情報交換 今年度部活動指導員はどのように探し、採用したか。 令和７年度外部指導者に声をかけ採用した。 今年度外部指導者は何人いるか。 ３７名採用している。

太田委員	令和８年度以降は平日の移行に力をいれることとなっているが、東松山市はどのように考えているか。
事務局	まずは、市の状況に合わせて休日の地域展開を考えている。
太田委員	部活動指導員はどこが、採用しているのか。
事務局	教育委員会である。
太田委員	部活動指導員に対しての意見はどこが受け付けているか。
教育長	現状は部活動なので、学校が受け付けている。総合型地域スポーツクラブになった場合には教育委員会が窓口となると考えている。
森座長	外部指導者が前年度５０数名から今年度３７名と減ったが、現場からは困っている意見はあがっているのか。
事務局	意見はあがっていない。
森座長	部活動指導員はいつから運用開始したのか。
事務局	５月から導入を開始した。
森座長	導入してから現在までの状況はどうか。
西川委員	本校では吹奏楽部顧問で任用しているが、導入後非常によく活動を行ってくれている。
森委員	松崎委員はどうか。
松崎委員	どのようにスタートしたか。また、研修などはどのように行っているか。
西川委員	年度当初の面談をおこなっている。
森委員	昨年も部活動指導員の研修について話題となったが教育委員会はどのように考えているのか。
事務局	採用時の面談で、職務や、服務に関することを伝えた。研修については、それぞれ兼業をしている関係もありどのような研修が適しているのか現在検討している。
森座長	研修は必要不可欠であるが負担になると、なり手が不足する。しかし他の自治体で不祥事もあるので適切な研修を検討する必要がある。
森座長	南中は野球部に部活動指導員を導入しているがどうか。
遠藤委員	顧問と協力してよくやっている。
事務局	部活動指導員については顧問不在時に部活動を実施することができたというメリットもある。
森座長	部活動指導員が単独で行うことに不安があるか。
西川委員	屋外の部活動では怪我等が心配である。
長澤委員	部活動指導員と顧問の関係性はどうか。
西川・遠藤委員	外部指導者から部活動指導員になったこともあり良好な関係を築いている。

森座長 事務局 森座長	今年度8名導入したが、来年度は倍の16名になるのか。 増員を目指したいが、人数は検討中である。 国の動向や市の人口変化なども踏まえながら検討を行っていきたいと考えている。今日は部活動指導員の効果的な活用について考えたい。 現状4校で8名であるが、配置されていない学校もあるので在籍している学校で差がでないよう工夫する必要がある。
寺田委員	現在、外部指導者から部活動指導員になったが、システムを構築していかなければ、指導員の増員が見込めないのではないかと。 教員の兼職兼業も考えていかなければならない。
松崎委員	教員の兼職兼業は市としてどう考えているか。また、部活動指導員をどのように増やしていく予定か。
事務局	幅広い方に部活動指導員になってもらいたい、本人の適性や学校に適した配置については方策を考え、校長先生方と相談していきたい。
事務局 教育長	兼職兼業を現状、すぐ実施することは中々難しい状況と考えている。 現状、学校部活動の部活動指導員である。部活動なので現状は認められない。これが、地域展開となってきた場合には状況が変わってくる。競技によっては先行的に展開する場合もありえる。
寺田委員	例えば、他の自治体で公立小学校教職員として働いている東松山在住の方が自分の出身中学校で部活動指導員として活動することができるのか。
事務局	勤務先の自治体が兼職兼業を認めれば可能だと考える。
寺田委員	色々な可能性を考えて指導者を確保していかなければならないと考えている。
太田委員	スポーツ協会としては指導者の確保を呼びかけることはできるのか。
寺田委員	可能だと考えている。
太田委員	スポーツ少年団はどうか。
寺田委員	スポーツ少年団の方が一般競技団体より可能性が高いと考えている。
太田委員	スポーツ少年団のシステムを利用し、そのまま地域展開している自治体もある。県でも色々な施策をおこなっているのもそれを活用するのも良いかと考えている。
太田委員 森委員	複数指導者登録することで活動可能の日が多くなると考えている。 現状、各団体協力できる状況を構築できていない。しかし、東松山は現在休日の部活動に限定している状況であれば協力団体が手を挙げてくれるのではないかと。
森委員	某大学では運動部で中学校部活動の地域移行事業を引き受けている団体もある。その場合、指導方針は大学が設定しているので、指導方針がぶれない。

西川委員	今後、どのような活動になるかを市が明確にする必要があるのではないか。 学校での部活動は中体連の2大会がある。その大会の関係で活動の中心が部活動になりがちである。クラブにするのか部活動をどうするのか。市としての方向性を明確にしてほしい。
森委員	中体連としての方向性はどうなのか
遠藤委員	県ではバレーボールクラブが4チームある。このクラブは強化をメインとしているものであり、地域のために行っている団体ではないと感じている。
森委員	理想は技能面を強化するクラブと様々な種目を経験できる両面あると良いと感じている。様々な問題があるが、競技間で工夫して子どもを集める必要があると考えている。個人的には今までの部活の在り方は見直さなければならぬと考えている。人をどのように集めるかを考える必要がある。東松山市としては今後どのようにしていきたいのか。
事務局	現状、令和7年度部活動指導員を導入し、今後それをさらに増やし活用していこうと考えている。どのような形が良いか協議会の意見を参考に検討していく。
寺田委員	今の活動は地域展開でよいのか。南中の野球部に地域の方が入っている状況である。
事務局	現状は地域展開というより、学校部活動の充実と考えている。
教育長	それぞれ色々な形があるが地域展開が可能な競技や部活動については移行ができればと考えている。しかし、平日は部活動、休日はクラブという状況は学校現場としては両立が難しい面もあると考えている。実施可能な部活動の形を探りたい。
森委員	子ども達が活動する上で、迷わないスタイルを探りたい。現状、一番困っているのは学校であると考えている。また、学校から部活動を切り離すと子ども達の活動状況が把握できずに健康状態が心配である。子ども達が過度の負担にならないようにしたい。地域移行になった場合、担当事務局はどこになるのか。
事務局	教育委員会に設置することを考えている。
森委員	国の方針も定まらない状況なので今後も注視していきたい。
寺田委員	部活動ではクラブチームと部活動の掛け持ちでの登録はできるのか。
遠藤委員	それぞれの競技で異なるが、明確に登録先を決定して競技を行う方向にある。
寺田委員	吹奏楽はどうか。
大塚委員	中学校が5校あるので一度に全員で行うことは不可能だと考えている。また、課題曲等それぞれに設定しているので拠点校での実施は不可能だと考えている。各校に部活動指導員を入れることが現状一番良いと考えている。
森委員	拠点校などで実施した場合、移動方法なども検討しなければならない。また、

寺田委員 事務局 西川委員 事務局 森座長	様々なアイデアを検討する必要がある。部活動指導員も様々な活動方法を考え子ども達の活動に影響がないような方法を検討したい。 9月のスポーツ協会の理事会で部活動指導員の案内をしてよいか。 予算の関係もあるので改めて案内させていただく。 部活動指導員が部活動を指導する状況と休日はクラブチームなどに移行する方法どちらを考えているのか。 部活動指導員が単独で部活動を行うことをモデルケースと考えている。 部活動の在り方も従前のやり方でよいか検討しなければならない。様々な方法を検討しなければならない。皆さんにも意識していただければと思う。
6 諸連絡 事務局	今後の協議会の開催について、次回は11月と2月を予定している。
7 閉 会	事務局：学校教育部 次長 澤田一彦
上記会議の顚末を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和7年10月24日 署名委員 太田 あや子 令和7年10月24日 署名委員 西川 光治	